

開催館名 釧路市立博物館

企画展名 常設展示リニューアル記念特別展

「冷たい海の大冒険!!!～関勝則が写す北の海の生き物～」

開催期間：平成29年4月1日（土）～平成30年6月30日（土）



【企画展の内容・目的】

- 国内屈指の水産都市でありながら、冷涼な気候のため、海水浴など海辺の生き物に親しむ機会が少ない釧路地方にすむ一般市民や子供たちに地域の海にすむ生き物の生態や海洋環境などについて学ぶ場を提供する。
- 海辺の生き物観察会や講演会、釧路の海の生き物についてオリジナル缶詰など（博物缶）の販売、企画展展示解説冊子の発行などの関連事業を通して釧路の海について一般の市民の方々が幅広く学べる場を提供する。

1. 企画展示の内容

- 開催期間：平成29年9月2日（土）～平成29年11月5日（日）
- 開催場所：釧路市立博物館マンモスホール
- 入場者数： 6,671 人



釧路市立博物館 外観



企画展会場 入口



企画展会場内の写真（1-①）



企画展会場内の写真（1-②）

国内屈指の水産都市でありながら、冷涼な気候のため、海水浴など海辺の生き物に親しむ機会が少ない釧路地方にすむ一般市民や子供たちに地域の海にすむ生き物の生態や海洋環境、地域の食文化、経済とのつながりなどを広く深く学ぶ機会を提供することを目的として、水中カメラマンの関勝則氏が撮影した19枚の大型写真パネル(1-①、②)と関氏執筆の撮影エピソードや釧路沿岸太平洋の自然環境、海洋生物の生態についての解説パネルを見ることで、日常生活では見ることのない、地域の海や生き物の生態について広く解説する内容とした。



企画展会場内タッチプール（1-③）



岩礁の海にすむ生き物展示水槽（1-④）

岩礁潮間帯などで採集したヤドカリ類、ヒトデ類、カレイ類等の海の生き物を入れたタッチプールを設置し、来館者が生き物に触れながら、真近で生き物の生態を学べるようにした（1-③）。

置き水槽（1-④）を設置し、海藻やウニ、ヤドカリ類、ヒトデ類、カジカ類、キンコ（ナマコの仲間）などの生き物を入れた、岩礁の海の世界を再現した展示をおこなった。岩礁に根を張り繁茂する海藻に擬態し、身を隠しながら巧みに生きている多種多様な生き物など岩礁生態系について楽しみながら学べるよう工夫した。



釧路の海の生き物の4K映像番組の上映（1-⑤）

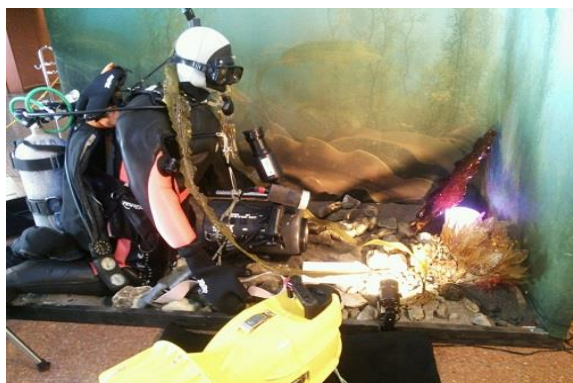


釧路の海の生き物の映像上映（1-⑥）

水中カメラマンの関勝則氏が釧路など北海道東部太平洋沿岸地域にすむ魚類、甲殻類、クラゲ類やトドなどの生き物の生態を撮影した映像番組（4Kスーパーハイビジョン）の展示上映をおこなった（1-⑤、⑥）。

釧路地方は夏でも海水浴ができないほど冷涼な気候であるが、映像を通して普段の生活では見ることができない海底の地形とコンブなどの海藻類、アマモなどの海草類が繁茂状況との関係性などを視覚的に理解することができる。また超高精細の4Kスーパーハイビジョン映像は海洋生態系食物連鎖の釧路沿岸海域海中をプランクトンやイサザアミ類などの微細な生き物が遊泳する様子も図やイラスト、文章などで解説するよりも分かりやすく紹介することができた。特に動きのある対象物については動画を活用することで静止画（写真）よりも生態を理解しやすい展示をおこなうことができた。映像には和文と英文（外国人向け）による字幕を入れて、生き物の生態がわかるように編集をおこなった。映像は釧路地方の太平洋沿岸域や知床半島の羅臼町沿岸で撮影したトド、魚類、甲殻類、海藻類、海草類など約50種の海中の捕食シーンや海藻に付着するナメダングやフサギンポ、周りの海草の色に合わせて体色を巧みに変えるホッカイエビの擬態といった姿などを映像でわかりやすく紹介し、短時間で様々な生き物の特徴的な生態を凝縮して紹介するよう工夫した。

2. 関連事業の内容



岩礁の海のジオラマ（1-⑦）



フウセンウオの生体展示（1-⑧）

釧路沿岸太平洋の岩礁帯を再現した実物大ジオラマを製作し、展示した（1-⑦）。コンブ類など海藻が岩石に根を張る様子を忠実に再現し、スケール感をわかりやすくするために、実物大のダイバー模型を配置した。釧路沿岸太平洋に生息し、ダイバーなどに人気のフウセンウオの生体展示をおこなった（1-⑧）。



企画展展示解説書（I-⑨）

企画展の展示解説書を製作し、企画展開催期間中に来館者に配布した。冊子には本展の内容に網羅した内容とし、本展の解説文と同様に担当学芸員が文章を執筆し、写真は本展で紹介した内容の他にさらに深く学べるよう写真、図表、イラストなどを配置した。

【来館者の声】

- スーパーハイビジョン映像で実際に海の中で生物が活動している様子が見れてよかった。まだまだ身近な海について知らないことがたくさんあるのだと知ることができてよかった。これから足しげく博物館に来たいと思う。
- 海の中の映像が良かった。釧路の海の豊かさ地形や地質、陸上の生態系の働きが釧路の海にどう影響しているかもっと知りたいと思った。
- 実際に生き物をさわることができるタッチプールがよかった。子供も楽しく海の生き物について学ぶことができた。
- 地味な色ばかりだと思っていた北の海の中が赤や黄色のカラフルな色がたくさんあって驚いた。タッチプール、パネル写真もよかった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

■関連事業名① 海辺のいきもの観察会

【開催日時】平成29年8月19日（土） 9:00～ 11:30

【開催場所】釧路町昆布森節古地区

【参加者数】24名（小学生と保護者）

【実施内容・目的】小学生を対象に釧路町昆布森の磯場で、水中カメラマンの関勝則氏を講師に磯の生き物の観察会を開催した。



岩礁潮間帯で生物採集（2-①）

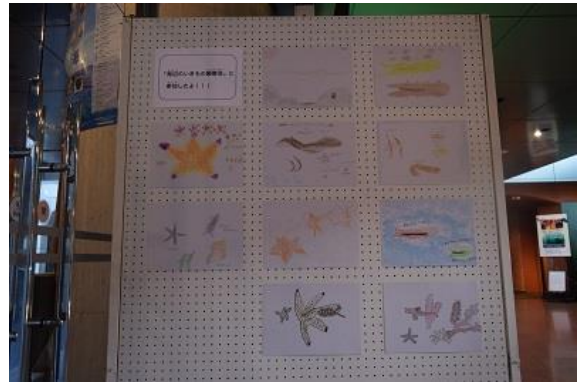


採集した生き物の学習（2-②）

岩礁潮間帯に形成された潮だまりで博物館スタッフや講師の指導の下、小学生と保護者がたも網を使って生物採集をおこない、講師から説明を受けながら採集した生き物について調べ学習をおこなった。釧路地方は観察会に適した潮だまりが少ないことから、会場の選定に最も苦労したが、参加者の安全を第一としつつ、当館主催事業としては約20年ぶりに開催することができた。参加者には大変好評であり、観察会として大変意義深い内容となった。



生物採集をおこなう際の注意事項の説明（2-③）



参加者（小学生）が描いたイラスト画（2-④）

アイナメ稚魚、マヒトデ、ヤドカリ類、イサザアミ、甲殻類などとても多くの生物を子供たちがたも網を使って採集した。採集した生き物は講師や学芸員の指導のもと子供たちが調べ学習をおこない、生き物の特徴を学びながらイラスト画を描いた。描いたイラストは企画展で展示をおこなった（2-④）。

【来館者の声】

- 生き物を捕まえる体験ができて、名前も学べて、すごくたくさん数や種類の魚が海にいることがわかってよかった。
- 生態 海の広さ、奥深さを知り、もっと知りたいと思った。子供が楽しそうに勉強できて、親子で参加できて良い経験になった。また参加したい。
- 実際に海辺の岩場へ行って海の生き物を採集できたことがよかった。小さな海の生物がたくさんいて、もっとたくさんの生物が育っていけるような海を保ちたいと思った。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

■関連事業名②海の生き物講演会

【開催日時】平成29年10月15日（日） 13:30～16:00

【開催場所】釧路市立博物館講堂

【参加者数】89名

【目的・実施内容】

北の海で日々繰り広げられる、知られざる生き物たちの営みについて、来場者の方に広く知っていただくことを目的として、年間200日以上 of 潜水をおこなう、プロカメラマンの関勝則氏を講師に海の生き物についての講演会をおこなった。



海の生き物講演会(3-①)



海の生き物講演会(3-②)

講演会では北海道東部の海で30年以上、年間200日以上 of 潜水を続けている水中カメラマンの関勝則氏に氏自身がこれまで見つめ続けてきた北の海の水中世界や生き物の生態について、撮影した写真を使って、30年間で起きた生物相や海中環境の変化などを紹介していただいた。とても説得力があり、ユーモアを交えた分かりやすい話は来場者にとっても好評だった。地球温暖化がもたらす流水の減少、昆布や海藻類などの植生変化など地球規模の話から、身近な海にすむプランクトンや微生物の話まで食物連鎖や物質循環など海洋生態系の仕組みまでも理解できる大変興味深い内容であった。

【来館者の声】

- 落ち葉が堆積して海の栄養になる・・・写真の解説のみならず、とりまく環境にもふれていたのが魚の美しさと共にそれらを包み込む大きな海に関心が向いた。
- 生態系や環境についての話、動物と人はいかにかわるか、環境を守るか、考えさせられた。
- スライドなどとても鮮やかで美しく感動したが、今までよく獲れた魚が少なくなっていることに危機感を感じた

■関連事業名③釧路の海の幸“博物缶”特別販売

【開催日時】平成29年9月2日（土）～

【開催場所】釧路市立博物館

【参加者数】96名（博物缶販売個数）

【目的・実施内容】

地域の豊かな水産資源についてよくカンで味わい、より広く知っていただくことを目的として、企画展で使用した写真（関勝則氏撮影）と当館オリジナルキャラクター、“はっくん”をデザインしたサンマ水煮缶詰（株式会社マルハニチロ北日本釧路工場製造）の特別販売をおこなった。



博物缶パッケージ（4-①）



サンマ水煮缶詰（4-②）

国内有数の水揚げ量を誇る釧路の特産物であるサンマについて食味だけではなく、生態についても釧路市民に学んでいただくことを目的として、特製缶詰「博物缶」を製作した。本展で使用したサンマの写真をベースデザインとして博物館キャラクター「ハックン」がサンマを持っているイラストを配置した。また学芸員が作成したサンマの生態を紹介する解説文を入れることで、味を楽しみながら、サンマの生態も学べるよう工夫した。

【来館者の声】

- 缶詰のパッケージがかわいくてサンマの解説も興味深かった。
- 普段の食生活でなじみ深いサンマだが、どんな生態なのかほとんど知らなかった。
- 博物館グッズとして缶詰は面白い着眼点だと思う。今後も販売してほしい。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等ではできません。

■関連事業名④釧路の海の幸“博物缶”特別販売

【開催日時】平成29年9月15日（金）～

【開催場所】釧路市立博物館、釧路管内郵便局等

【目的・実施内容】

知られざる釧路地域の海の生き物の魅力について、より広く多くの方々に知っていただくことを目的として、企画展で展示使用した写真を用いたオリジナルフレーム切手「海と川を旅する釧路から始まるいのち」が日本郵便北海道支社より、9月15日から釧路管内等郵便局と釧路市立博物館で販売を開始した。9月19日には釧路市役所にて撮影者である関勝則氏同席し、日本郵便北海道支社から釧路市への郵便切手贈呈式が行われた。



郵便切手贈呈式（5-①）



郵便切手贈呈式会場（5-②）

郵便切手贈呈式（2017年9月19日 釧路市役所にて）

蝦名大也・釧路市長（右）、関勝則・知床ダイビング企画代表（中央）、石田広幸・日本郵便北海道支社釧路地区副統括局長（左）

郵便切手シートは釧路・根室地方の40か所あまりの郵便局のほかに札幌や小樽などの北海道内の主要郵便局で販売をおこなった。また、切手のデザインとなった生き物について分布、食性、回遊ルートなどの生態的な特徴について学芸員が作成した「釧路のいきもの解説シート」を同封した。

これにより、直接博物館に来館できない方々にも釧路の海や生息する生き物について学んでいただく機会を提供することができた。

【来館者の声】

- 魚眼レンズ？撮影の昆布の写真が素晴らしく、こんな海中の世界が釧路にあることを知り、驚いた。
- フサギンポの顔がひょうきんでお気に入りになった。
- 釧路の海は地味な色しかないものかと思っていたので、カラフルな水中風景にみとれた。

■関連事業名⑤ <巡回展① 会場：釧路空港>

常設展示リニューアル記念巡回展

「冷たい海の大冒険！！～関勝則が写す北の海の生き物～」

【開催日時】平成29年12月16日（土）～平成30年1月31日（水）

【開催場所】釧路空港2階出発ロビー

【参加者数】約5万人（推定）

【目的・実施内容】

企画展において、展示した内容をより広く多くの人々に見ていただき、釧路や北海道の海についての学びを深めていただくことを目的として、博物館来館者以外のより多くの人々に釧路の海の魅力を知っていただくことを目的として広く東北海道随一の利用者数を誇る釧路空港において、当館企画展で使用した写真パネルや50インチモニター2台によるスーパーハイビジョン映像の展示をおこなった。



釧路空港2階出発ロビー展示



釧路空港2階出発ロビー展示

東北海道随一の利用者数を誇る釧路空港において、クリスマスから年末年始にかけて利用者が増加する時期巡回展を開催したことにより、博物館には来ることができなかった観光客や道東地方在住の多くの方々にも釧路の海の魅力をPRすることができた。

【来館者の声】

- 水中カメラマンの関勝則さんの撮影エピソードのコメントがリアルで釧路の海にとっても興味がひきつけられた。
- 生まれも育ちも釧路ですが、映像で昆布が実際に海の中で生えてる様子を初めてみた。
- 映像や写真を見て、プランクトン、甲殻類がひしめきあう豊かな釧路の海を実感した。

■関連事業名⑤ <巡回展② 会場：船の科学館>

常設展示リニューアル記念巡回展

「冷たい海の大冒険!!!～関勝則が写す北の海の生き物～」

【開催日時】平成30年2月17日(土)～平成30年3月25日(日)

【開催場所】船の科学館本館1階ロビー

【参加者数】7,493名

【目的・実施内容】知られざる色彩豊かな北の海の水の中世界の様子を首都圏の人々に知っていただく共に、広く釧路地方の観光PRをおこなうことを目的として、船の科学館(東京お台場)本館1階ロビーを会場として、巡回展を開催した。また船の科学館、釧路観光コンベンション協会、阿寒観光協会(敬称略)の協力をいただき、釧路地方の観光PRコーナーも設置した。



「海＝南の暖かい海」というイメージが強い東京の人々に知られざる北の海の魅力をPRする格好の機会となった。また新たな試みとして、「博物館＝地域の観光資源」ととらえ、地域の観光と結び付けて展示することによって、釧路の海だけではなく、釧路地域全体の魅力をPRする機会となった。

【来館者の声】

- 魚の特徴がわかりやすく、ビデオ上映と展示上映が一体になっていた。より多くの魚について展示上映を通して興味を持つことができる良い機会であり、生態系を守ることの大切さを学ぶことができた。
- 写真1枚1枚の説明がわかりやすく、見た目にも楽しめた。なかなか見る機会の少ない海の中にも様々な生き物が住んでおり、環境を守ってあげる事も人間の大切な役割だと改めて感じた。
- 色々な所から魚や生物を撮っていて良かったと思う。魚の説明といっしょに海の事を書いていて、海のことがよくわかった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

■関連事業名⑤ <巡回展③ 会場：釧路市役所本庁舎>

常設展示リニューアル記念巡回展

「冷たい海の大冒険!!!～関勝則が写す北の海の生き物～」

【開催日時】

平成30年4月9日（月）～4月27日（金）

【開催場所】

釧路市役所本庁舎 1階ギャラリー

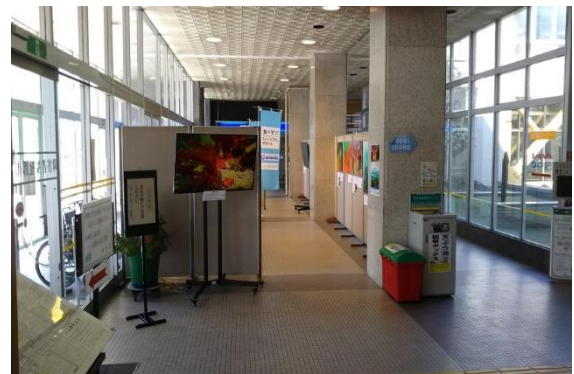
【参加者数】 約5千人（推定）

【目的・実施内容】

博物館来館者以外の博物館来館者以外のより多くの人々に釧路の海の魅力を知っていただくことを目的として釧路市役所本庁舎において、当館企画展で使用した写真パネルや50インチモニター2台によるスーパーハイビジョン映像の展示をおこなった。



釧路市役所本庁舎 1階ギャラリー展示



釧路市役所本庁舎 1階ギャラリー展示

市役所利用者が増える年度初めの4月に釧路市役所本庁舎1階ギャラリーを会場として巡回展をおこなった。これにより、普段博物館に足を運ばない方々にも映像や写真を見ていただくことで地域の海の素顔や魅力を知っていただく機会を提供することができた。

【来館者の声】

- トドがこんなに人懐こい愛らしい生き物だと知らなかった。
- 海藻の上ののっかっているナメダンゴがとても可愛らしかった。
- ゴッコの子供がこんな姿だったとは・・・

■関連事業名⑤ <巡回展④ 会場：厚岸町海事記念館>

常設展示リニューアル記念巡回展

「冷たい海の大冒険!!!～関勝則が写す北の海の生き物～」

【開催日時】平成30年5月3日（木）～平成30年6月10日（日）

【開催場所】厚岸町海事記念館 1階展示ホール

【参加者数】461名

【目的・実施内容】

企画展において、展示した内容をより広く多くの人々に見ていただき、厚岸町を含む釧路地方や北海道の海についての学びを深めていただくことを目的として、厚岸町内の大黒島周辺海域で撮影した写真パネルや映像を中心に紹介した。



当巡回展では会場となった厚岸町で撮影した写真や映像を主に紹介する展示とした。また地元の厚岸町の方々にも興味を持っていただけるよう、「大黒島」などの具体的な撮影地や撮影の際のエピソードも展示に盛り込んだ内容とした。

【来館者の声】

- 写真や映像で大黒島周辺の海中での多くの生き物の生態を知ることができてよかった。厚岸の自然、海を未来に残せるよう守っていくことの必要性を感じた。
- 関勝則さんの解説がとてもわかりやすく親しみがもてた。厚岸の海は自然の宝庫だと感じた。
- 釧路市立博物館での展示に次いで2回目の参加だが、スーパーハイビジョン映像に感動した。身近な大黒島の水中がきれいだと驚いた。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等ではできません。

【事業全体のまとめ】

展示用の映像撮影や展示魚の提供、巡回展の協力など地域の漁業協同組合、研究機関、博物館施設の方々などに多大なるご協力をいただいた。本事業をとおして培われた各機関の人々とのつながりを今後の博物館活動にいかしていきたい。

知床や釧路などの北海道東部の海で30年以上、年間200日以上、潜水撮影をおこない、NHKの自然番組などの撮影を数多く手がける関勝則さんに最新の撮影機材を用いて撮影していただいた写真やスーパーハイビジョン映像は企画展・巡回展など本事業を通して、来場者から高い評価を得るなど、海の学びを深めるための展示手法として分かりやすく、優れていることが改めてわかった。今後の博物館活動の中で、さらに写真や映像素材の収集を進め、より内容の充実した海の学びを提供していきたい。

また、多くの巡回展会場で新たな来場者に見ていただくことで、釧路地方の海の魅力をより多くの方々に知っていただくことができた。

付帯事業として実施した海辺の生き物観察会は参加者にとっても好評であったため、今後も開催場所など検討を重ねて継続して実施していきたい。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 船の科学館	本サポート、巡回展会場提供
2. 釧路市立博物館友の会	観察会、講演会の現地サポート
3. 釧路自然史研究会	観察会、講演会、巡回展のサポート
4. 釧路市漁業協同組合	海中映像撮影協力
5. 釧路市東部漁業協同組合	特別展生体展示用生物の提供
6. 釧路機船漁業協同組合	釧路周辺における深海魚の漁獲情報提供
7. 昆布森漁業協同組合	海辺の生き物観察会開催への協力
8. 厚岸漁業協同組合	厚岸沖での海中映像撮影の協力
9. 北海道大学厚岸臨海実験所	厚岸沖での展示用映像撮影の協力
10. 浜中漁業協同組合	浜中沖での海中映像撮影の協力
11. 国立研究開発法人海洋研究開発機構	展示解説冊子に使用する写真の提供
12. 国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所	釧路沖の海中撮影への助言
13. 地方独立行政法人北海道立総合研究機構釧路水産試験場	釧路沖の海中撮影への助言
14. NPO法人霧多布湿原トラスト	浜中沖での海中映像撮影の協力
15. 厚岸町海事記念館	厚岸沖での海中映像撮影の協力、巡回展会場提供
16. 釧路市水産課	釧路産水産物の情報提供
17. 厚洋海事株式会社	釧路沖の海中撮影への助言
18. オホーツク・ガリンコタワー株式会社	特別展生体展示用生物の提供
19. マルハニチロ北日本釧路工場	特製缶詰の提供
20. 知床ダイビング企画	展示映像の撮影
21. 釧路町役場	海辺の生き物観察会開催協力
22. 釧路空港ビル株式会社	巡回展会場提供
23. 株式会社西尾製作所	展示用海藻レプリカ製作

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
北海道じゃらん 2017年8月号	見出し:「釧路市立博物館リニューアル記念特別展を開催!」掲載日:平成29年8月20日(発行)
NHK 北海道のニュース 全道放送	見出し:「海辺の生き物観察会」平成29年8月19日・21日18時~ホットニュース北海道の「ホットするニュース」
朝日新聞 朝刊 全道版	見出し:「海辺の生き物 親子らが観察」、掲載日:平成29年8月20日
釧路新聞	見出し:「色鮮やか北の海紹介 博物館特別展自然の姿映像で実感」、掲載日:平成29年9月4日
NHK つながるタンチョウ 釧路地方放送	見出し:「冷たい海の大冒険!!!」放送日:平成29年9月4日
エフエムくしろ path-art	見出し:「関勝則さん出演」放送日:平成29年8月30日
北海道新聞 朝刊 釧路版	見出し:「海の生き物 鮮やかな世界」、掲載日:平成29年9月15日
北海道新聞 朝刊 釧路版	見出し:「釧路の海、川の生き物 切手に」、掲載日:平成29年9月16日
釧路新聞 1面	見出し:「日本郵政、釧路市に寄贈」掲載日:平成29年9月20日
北海道新聞 朝刊 釧路版	見出し:「市立博物館特別展 冷たい海の大冒険」掲載日:平成29年10月13日
釧路新聞 1面	見出し:「釧路の海興味持って」、掲載日:平成29年10月13日
北海道新聞 朝刊 道東版	見出し:「勝負の一枚求め海へ」、掲載日:平成29年10月17日
北海道新聞 全道版 第1面 コラム	見出し:なし 掲載日:平成29年10月18日
NHK つながる北カフェ 全道放送	放送日:平成29年10月23日 企画展紹介
北海道新聞 夕刊 道東版	見出し:「生き生き北の海の仲間」、掲載日:平成29年10月25日
NHK 北海道のニュース 全道放送	見出し:「海の生き物講演会」放送日:平成29年10月16日
釧路新聞	見出し:「地域の素材特別要素に」掲載日:平成30年2月9日
釧路新聞 1面 コラム余塵	見出し:「博物館へ行こう」掲載日:平成30年2月10日
日本海事新聞	見出し:「冷たい海へ・・・いざなう 水中写真家・関勝則巡回展」、掲載日:平成30年2月19日
北海道新聞 朝刊 釧路版	見出し:「鮮やかな北の海知って 関さん撮影博物館特別展東京でも展示」掲載日:平成30年2月21日
釧路新聞	見出し:「冷たい海の大冒険 東京で巡回展好評」掲載日:平成30年2月28日
釧路新聞	見出し:「大黒島の水中写真 北の海生き生き」掲載日:平成30年4月24日
北海道新聞 釧路版	見出し:「海の生き物たち カラフルな世界 関さんの写真、映像展」掲載日:平成30年5月15日

以上

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。